

イノシシ用豚熱経口ワクチンの国産化について

- ・イノシシ用国産豚熱経口ワクチンの開発事業（R2-4年度）を実施。試作品が完成。
- ・R5年度は、試作品の改良、安全性試験、散布実証試験等を事業として実施。

開発事業における主な研究内容

① ワクチン株の開発

- ◆ 経口ワクチンとしての使用に適したワクチン製造用ウイルス株の作出及び経口ワクチンとして投与する際のウイルス量を検討 など

② 国内での使用に適したベイト剤等の開発

- ◆ 国内のイノシシが効率的に経口ワクチンを摂取するよう嗜好性に優れたベイト剤等を検討 など

③ 試作経口ワクチンの効果確認

- ◆ 上記で得られた知見に基づいて、経口ワクチンを試作、摂食した動物での効果を検証 など

イノシシ用国産経口ワクチンの開発

これまでの主な成果

- ✓ GPE-株の経口投与による免疫誘導効果を確認。
- ✓ 日本のイノシシに誘引性及び摂食性のある米糠やトウモロコシを主原料するベイト剤及び生分解性の抱合剤（ワクチン液を入れる容器）を開発。
- ✓ 試作ワクチンを実験豚に経口投与し、豚熱ウイルス野外分離株で攻撃試験を実施。抗体産生及び感染防御を確認。

試作品



実施研究機関：農研機構（動衛研、食品研、畜産研）、広島県立大学、共立製薬（株）からなるコンソーシアム

・上記の成果を踏まえ、R5年度は国産ワクチンの早期実用化に向けた事業を実施中

■ 豚熱経口ワクチン内製化推進事業（予算額：30百万円、委託事業）：

試作品の改良、安全性試験、安定性試験、野外での散布実証試験

実施機関：農研機構（動衛研、畜産研）、塩野香料（株）、共立製薬（株）からなるコンソーシアム

■ 豚熱経口ワクチン実用化促進事業（予算額：18百万円、補助事業）：

実施機関：共立製薬（株）

ワクチン液中のウイルス増殖効率の向上